

8 精 監 査 第 6 号  
平成 2 8 年 8 月 1 6 日

精華町長 木村 要 様

精華町監査委員 西 村 邦 彦

同 塩 井 幹 雄

### 平成 2 7 年度精華町国民健康保険病院事業特別会計決算の審査意見について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された平成 2 7 年度精華町国民健康保険病院事業特別会計決算を審査したので、その結果について次のとおり意見を提出します。

#### 第 1 審査の期間

平成 2 8 年 6 月 2 4 日から 7 月 2 9 日

#### 第 2 審査の手続

町長から提出された決算書類が、適法かつ正確に表示しているかどうかを検証するため、会計諸帳簿と関係証拠書類との照合やその他必要と認められる一般的審査手続を実施した。また、地方公営企業法第 3 条における経済性が発揮されているか、町民の福祉の向上に寄与しているかについての把握を主眼として、関係職員から説明を聴取するなどにより審査を実施した。

#### 第 3 審査の結果

審査に付された決算書や関係諸表は、適正に表示しているものと認められた。また、予算の執行、経理事務及び財産の管理など財務に関する事務の執行は、おおむね適正に処理されているものと認められた。

決算の状況及び審査意見は次のとおりである。

## 1 予算執行状況について

### (1) 収益的収入及び支出について

収益的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

#### ア 収益的収入

(単位：千円、%)

区分	予算額	決算額	対予算額増減	収入率
病院事業収益	27,088	26,298	△ 790	97.1
医業外収益	27,088	26,298	△ 790	97.1

収益的収入の決算額は26,298千円で、予算額27,088千円に対し、790千円の減、収入率は97.1%となっている。

#### イ 収益的支出

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
病院事業費用	40,143	40,476	0	△ 333	100.8
医業費用	40,024	40,463	0	△ 439	101.1
医業外費用	119	13	0	106	11.1

収益的支出の決算額は40,476千円で、予算額40,143千円に対し、333千円の減、執行率は100.8%となっている。

#### ウ 収支の状況

収入決算額 26,298千円

支出決算額 40,476千円

であり、収支差引14,178千円の赤字となっている。

## (2) 資本的収入及び支出について

資本的収入及び支出の状況は、次のとおりである。

### ア 資本的収入

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	対予算額増減	収入率
資本的収入	130,000	130,000	0	100.0
他会計負担金	30,000	30,000	0	100.0
貸付金償還金	100,000	100,000	0	100.0

資本的収入の決算額は130,000千円で、予算額130,000千円に対し、収入率は100.0%となっている。

貸付金償還金は、町の貸付けに対する指定管理者からの償還金である。

### イ 資本的支出

(単位：千円、%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	135,953	131,630	0	4,323	96.8
建設改良費	35,953	31,630	0	4,323	88.0
貸付金	100,000	100,000	0	0	100.0

資本的支出の決算額は131,630千円（執行率96.8%）で、予算額135,953千円に対し、4,323千円の減となっている。

建設改良費の決算額は31,630千円で、病院施設各階屋上防水工事及び手術室空調設備更新工事に係る事業費である。

貸付金は、指定管理者に対する貸付金で、決算額は前年度と同額の100,000千円となっている。

### ウ 収支の状況

収入決算額                   130,000千円

支出決算額                   131,630千円

であり、収支差引1,630千円の赤字となっている。

不足分については、過年度分損益勘定留保資金で補てんしている。

## 2 経営成績等

### (1) 損益の状況について

損益の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成27年度	平成26年度	増 減	
			金 額	率
医業収支				
医業収益	0	0	0	—
医業費用	40,463	40,209	253	0.6
医業利益	△ 40,463	△ 40,209	△ 253	—
医業外収支				
医業外収益	26,298	26,229	69	0.3
医業外費用	13	13	0	0.7
医業外利益	26,285	26,216	69	0.3
經常利益	△ 14,178	△ 13,994	△ 184	—
特別損益	0	△ 668	668	—
特別利益	0	0	0	—
特別損失	0	668	△ 668	△ 100.0
純利益	△ 14,178	△ 14,662	484	—

医業収支は40,463千円の損失で、前年度と比較して損失が253千円(0.6%)増加、医業外収支は26,285千円の利益で、前年度と比較して69千円(0.3%)増加している。この結果、經常損失は、14,178千円となり、前年度と比較して184千円(1.3%)損失が増加した。特別損益が発生しなかったことから、純損失は、經常損失と同額の14,178千円となった。

ア 収益

収益の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成27年度	平成26年度	増 減	
			金 額	率
医 業 収 益	0	0	0	—
入院収益	0	0	0	—
外来収益	0	0	0	—
その他の医業収益	0	0	0	—
医 業 外 収 益	26,298	26,229	69	0.3
受取利息及び配当金	154	154	0	0.2
国・府補助金	0	0	0	—
負担金交付金	9,038	9,638	△ 600	△ 6.2
長期前受金戻入	16,360	15,701	659	4.2
その他医業外収益	746	736	10	1.4
特別利益	0	0	0	—
過年度損益修正益	0	0	0	—
その他特別利益	0	0	0	—
合 計	26,298	26,229	69	0.3

医業収益は、利用料金制により、指定管理者が診療費等を直接収入しているため発生せず、医業外収益は26,298千円で、負担金交付金が600千円減少、長期前受金戻入が659千円増加した等により、前年度と比較して69千円（0.3%）増加した。

総収益は26,298千円で、前年度の26,229千円と比較して、69千円（0.3%）の増加となっている。

## イ 費用

費用の状況は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

区 分	平成27年度	平成26年度	増 減	
			金 額	率
医 業 費 用	40,463	40,209	253	0.6
給与費	9,458	9,376	82	0.9
材料費	0	0	0	—
経費	1,191	1,181	10	0.8
減価償却費	28,554	28,518	35	0.1
資産減耗費	1,260	1,134	126	11.1
研究研修費	0	0	0	—
医 業 外 費 用	13	13	0	0.7
支払利息及び 企業債取扱諸費	13	13	0	0.7
雑支出	0	0	0	—
特別損失	0	668	△ 668	△ 100.0
過年度損益修正損	0	0	0	—
その他特別損失	0	668	△ 668	△ 100.0
合 計	40,476	40,891	△ 415	△ 1.0

医業費用は40,463千円で、資産減耗費の増加等により、前年度と比較して253千円(0.6%)増加した。医業外費用は13千円で、前年度と比較して微増(97円・0.7%)している。特別損失の計上はなく、前年度において会計基準変更に伴い計上した平成25年度末計上賞与引当金に係る668千円が皆減している。

以上、総費用は、40,476千円であり、前年度の40,891千円と比較して415千円(1.0%)の減少となっている。

## (2) 純利益額等の推移について

平成19年度以降の純利益(損失)額、入院・外来患者数、人件費と薬品費の各医業収益比等の推移及び医業収支及び純利益(損失)額の推移については、それぞれ次表に示すとおりである。

◎ 純利益（損失）額推移表 (単位：千円)

区別 年度	純利益（損失）額	未処分利益剰余金	他会計からの繰入金
19年度	770	72,945	43,978
20年度	△ 30,587	42,358	10,184
21年度	△ 30,125	12,233	9,892
22年度	△ 35,466	△ 23,233	9,734
23年度	△ 24,452	△ 47,685	10,162
24年度	△ 26,288	△ 73,973	9,921
25年度	△ 26,677	△ 100,650	9,071
26年度	△ 14,662	256,106	9,638
27年度	△ 14,178	241,928	9,038

◎ 入院患者延数及び病床利用率推移表（参考）

区別 年度	許可病床数	患者延数	1日平均 患者数	病床利用率	備考
19年度	50床（18,300床）	7,823人	21.4人	42.7%	指定管理者 による運営
20年度	50床（18,250床）	12,645人	34.6人	69.3%	
21年度	50床（18,250床）	15,250人	41.8人	83.6%	
22年度	50床（18,250床）	16,758人	45.9人	91.8%	
23年度	50床（18,300床）	17,283人	47.2人	94.4%	
24年度	50床（18,250床）	17,278人	47.3人	94.7%	
25年度	50床（18,250床）	17,342人	47.5人	95.0%	
26年度	50床（18,250床）	17,365人	47.6人	95.2%	
27年度	50床（18,300床）	17,063人	46.6人	93.2%	

◎ 外来患者数推移表（参考） (単位：人)

区別 年度	患者総数	1日平均	内科	外科	小児科	整形外科	リハビリ	皮膚科	歯科	透析	泌尿器科	備考
19年度	30,428	103	18,768	1,987	2	606	3,375	1,468	3,700	522	-	指定管理 者による 運営 ※平成25 年度以降 のリハビ リの患者 数は、整 形外科に おける患 者数の内 数です。
20年度	28,089	96	16,835	2,120	5	366	2,135	1,424	4,194	1,010	-	
21年度	27,440	93	16,273	2,115	-	285	486	1,569	4,666	2,046	-	
22年度	26,991	91	15,150	1,880	-	371	0	1,725	5,312	2,553	-	
23年度	27,952	94	14,923	2,065	-	499	0	1,750	5,871	2,844	-	
24年度	27,729	94	14,187	2,132	-	470	0	1,794	6,252	2,894	-	
25年度	31,156	106	14,194	2,389	-	2,308	(905)	1,998	6,912	3,355	-	
26年度	35,608	121	15,742	2,631	-	3,474	(1,327)	2,299	7,125	4,337	-	
27年度	35,821	121	14,779	2,053	-	4,344	(2,142)	2,390	7,682	4,183	390	

◎ 人件費、薬品費の対医業収益比（参考）

区別 年度	医業収益 (千円)	人件費		薬品費		人件費・薬品費計		備考
		金額(千円)	比率・%	金額(千円)	比率・%	金額(千円)	比率・%	
19年度	514,680	360,898	70.1	137,233	26.7	498,131	96.8	指定管理者による運営  (※金額は、町及び指定管理者におけるそれぞれの決算額を合算した数値とし、比率は、これら合算した金額に基づき算出した数値としています。)
20年度	511,674	407,602	79.7	41,616	8.1	449,218	87.8	
21年度	597,722	419,196	70.1	46,086	7.7	465,282	77.8	
22年度	667,996	480,299	71.9	49,174	7.4	529,473	79.3	
23年度	710,893	512,396	72.1	53,865	7.6	566,261	79.7	
24年度	733,859	505,967	68.9	52,865	7.2	558,832	76.1	
25年度	787,410	539,737	68.5	64,363	8.2	604,101	76.7	
26年度	839,272	564,777	67.3	60,919	7.3	625,696	74.6	
27年度	835,878	581,948	69.6	57,792	6.9	639,740	76.5	

◎ 医業収支と純利益（損失）額推移表（参考）

（単位：千円）

区別 年度	医業収益	医業費用	差引医業利益(損失)	純利益(損失)	備考
19年度	514,680	655,109	△ 140,429	△ 100,396	指定管理者による運営  (※金額は、町及び指定管理者におけるそれぞれの決算額を合算した数値としています。)
20年度	511,674	621,185	△ 109,511	△ 99,666	
21年度	597,722	647,467	△ 49,745	△ 39,512	
22年度	667,996	719,356	△ 51,360	△ 35,149	
23年度	710,893	757,206	△ 46,313	△ 34,190	
24年度	733,859	744,289	△ 10,430	△ 430	
25年度	787,410	792,816	△ 5,406	5,087	
26年度	839,272	842,168	△ 2,896	24,544	
27年度	835,878	843,931	△ 8,053	22,160	

### 3 総括

当年度も、町から指定管理者に対して1億円の貸付けが行われたが、その利率は前年度と同率の年0.2%、当該貸付に伴い町が収入した利息は153,551円である。町は、指定管理者の累積赤字が解消されるまで運営資金の貸付けを継続するとの方針を示しているが、指定管理者の当年度決算における累積赤字は142,977千円と多額であり、当面の間、貸付を継続することはやむを得ないと考えられる。一方において、4年連続で黒字を計上するなど、指定管理者における財務内容は改善傾向にあるとみられることから、引き続き、その運営及び財務状況を注視していくことが求められる。

また、当年度には、病院施設に関し、各階屋上防水及び手術室空調設備更新工事（事業費計31,630千円）が実施されたが、当該工事をもって計画的に予定された改修工事は終了し、今後は、突発的な修繕対応が必要なものについて、その都度工事が実施されることとなる。

次に、指定管理者による精華町国民健康保険病院の運営及び同運営に係る決算の状況を概観する。

まず、当年度の運営状況を見ると、入院患者数は17,063人で前年度の17,365人に対し1.7%の減少、1日平均患者数は46.6人で前年度47.6人に対し2.1%の減少となっている。病床利用率は93.2%（前年度95.2%）と高率を維持しており、救急患者用として確保すべきベッド2床分を除外して考えれば、年間を通じてほぼ満床の状態となっている。

外来患者数は35,821人で前年度35,608人に対し0.6%の増加、1日平均患者数は121.4人で前年度121.1人に対し0.2%の増加となっている。外来患者数を診療科目別にみると、内科が14,779人で前年度の15,742人に対し6.1%の減少、外科が2,053人で前年度2,631人に対し22.0%の減少、整形外科が4,344人で前年度3,474人に対し25.0%の増加、皮膚科が2,390人で前年度2,299人に対し4.0%の増加、歯科が7,682人で前年度7,125人に対し7.8%の増加、透析が4,183人で前年度4,337人に対し3.6%の減少となっている。また、当年度10月に新設された泌尿器科は390人となっている。

入院、外来患者数について、指定管理者による運営が開始された平成18年度におけるそれぞれの患者数と比較すると、入院患者数は平成18年度の8,297人に対し約2倍、外来患者数は同25,815人に対し約1.4倍となっている。このように患者数が大きく増加したのは、診療体制やサービスの充実が積極的に図られてきた結果と考えられる。当年度においては、泌尿器科の外来診療が新たに開始され、更に充実した診療体制がとられている。

続いて、決算の状況を見ると、医業利益は、平成24年度26,423千円、平成25年度31,279千円、平成26年度37,314千円に続き、当年度は32,410千円、経常利益は、平成24年度25,858千円、平成25年度31,763千円、平成26年度39,206千円に続き、当年度は35,800千円で、いずれも、4年連続の黒字となっている。累積赤字も平成24年度の250,285千円から、平成25年度218,522千円、平成26年度179,316千円、当年度142,977千円と着実に減少している。

以上のとおり、診療体制、サービスともに充実した病院運営が指定管理者によってなされており、その運営に係る財務内容も安定しつつあると考えられる。

指定管理者制度を当院に導入して10年が経過したが、平成32年度末に到来する指定期間の終了を見据え、これまでの成果を検証、総括し、今後の方向性を検討することが望まれる。